

星の子通信 2

～チーム星宮小のみなさんへ～

R元年.11.2. No.11

文責 新井麻起



先生方の活躍ぶりや授業等の様子、先生方へのメッセージを載せています。

本校では、学校研究課題として、主題「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善～「見方・考え方」を働かせた「深い学び」への指導方法の工夫～に取り組んでいます。
「年に二回は公開授業」を合言葉に11月1日(金)に行った授業を紹介します。



1年 矢野間 明子 教諭 教科 国語 単元名「はたらく自動車」

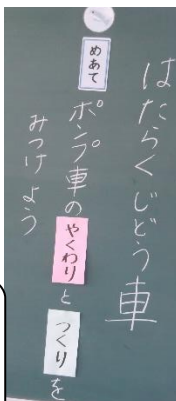
【前時までの学習内容の確認と本時のめあて】

【ポンプ車の朗読】

ポンプ車の「やくわり」と「つくり」は「はたらいているすがた」を本文から見つけるとともに、「やくわり」と「つくり」の文の間にある接続詞を見つけて出させる。

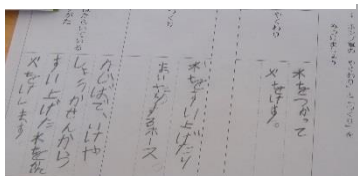


これまでに学習した3つの乗り物（バス・ミキサー車・シャベルカーの「やくわり」と「つくり」を確認し、本時はポンプ車であることを示す。



ポンプ車について書かれてある部分を何度も読む。その際に教師が、児童に意識してもらいたい言葉をわざと間違えて読み、児童がそれを修正しながら読む。

【3つの言葉の内容さがし】



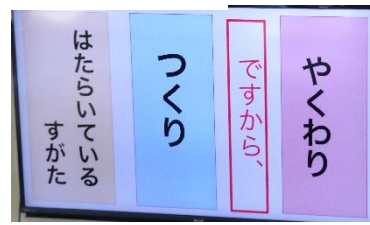
ポンプ車の「やくわり」と「つくり」と「はたらいているすがた」を教科書の文から探し出し、必要な言葉だけをプリントに書かせ、それを板書にまとめる。

【3つの言葉の内容を動画で確認】



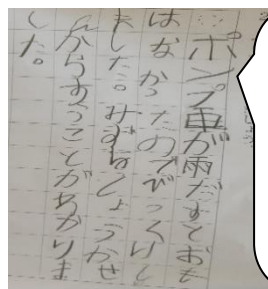
ポンプ車の映像を見ながら「やくわり」「つくり」「はたらいているすがた」の確認をする。

【接続詞を見つかる】



「やくわり」と「つくり」の文の間にある言葉（「ですから」）を見つけている。見つけられない児童には回りの児童がヒントを出し、考えさせている。

【本時の振り返り】



今日の授業で分かったことを書いている。例:「ポンプ車は水を消火栓からすいあげることがわかりました。」

【次時への見通しをもたせる】



教師が予め書いた「紹介カード」を見せ、この文の中にも「ですから」という言葉があるか確認させながら本時の学習で大切な言葉を押さえている。

矢野間明子先生は毎日の授業が研究授業です。